

# トルコ海外経済評議会

## (DEIK)との

# オンライン懇談会を開催

— 新型コロナウイルスが日トルコに与える影響と今後について

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、国境をまたいだ人の往来が制限される中、世界の貿易・投資は大幅に縮小した。こうした中、約8000万人の人口を有し、欧州、中東、アジア、北アフリカの結節点に位置するトルコは、消費者市場および第三国への輸出を視野に入れた生産地として、今後も重要なパートナーであり、この事態を一刻も早く打開するためにも、日トルコ間のさらなる協力は不可欠である。

そこで、経団連の日本トルコ経済委員会は2020年9月3日、トルコ海外経済評議会(DEIK)とのオンライン懇談会を開催し、コロナ禍における日トルコ双方の現状共有と両国ならびに世界経済回復に向けた協力のあり方について意見交換を行った。

懇談会では、DEIKよりナイール・オルパク会長、シェリフ・トサルトルコ日本経済委員長、来賓としてムラット・メルジャン駐日トルコ共和国大使、宮島昭夫駐トルコ共

和国日本大使(当時)、日本貿易振興機構(JETRO)アジア研究所の今井宏平研究員、アトルグローバル社のアルタイ・アトル社長が登壇し、熱のこもった議論を行った。以下、その模様を振り返りたい。

### コロナ禍における日トルコ協力の推進

開会セッションでは、新型コロナウイルスが日トルコ関係へ与えている影響について、見解を聞いた。オルパク会長、トサル委員長からは、パンデミック下におけるサプライチェーンの再構築や両国の貿易投資促進の観点から、アフリカ大陸など第三国における日トルコの協力やEPAの早期締結が重要との意見が出された。また、メルジャン大使、宮島大使からは、EPA締結と両国間の往來の早期再開に向けた課題解決への決意が述べられた。非常事態にあっても日トルコ間の互いの重要性が変わることはなく、コミュニケーション

副会長  
日本トルコ経済委員長  
三菱電機特別顧問

山西 健一郎  
やまし けんいちろう



審議委員会副議長  
日本トルコ経済委員長  
IHI 相談役

齋藤 保  
さいとう たもつ



セッションを継続し、ともにこの難局を乗り越えるべきだという意見で一致した。

### 新型コロナウイルスが日トルコおよび両国経済関係に及ぼす影響

来賓講演セッションでは、今井研究員、アトル社長より、新型コロナウイルスが日トルコおよび両国経済に与える影響について見解をうかがった。今井研究員からは、新型コロナウイルスが国際経済秩序とグローバルバリエーションに影響を及ぼしたことで、グローバルバリエーションを前提とした経済が停滞し、地域単位の分業になる可能性があるとともに、ビジネス展開においては地理的近接性よりも、



ソーシャルディスタンスを確保し、リアル&オンライン形式にて開催

制度的共通性がより重要になるため、EPA交渉で制度的な擦り合わせを行っているトルコは日本にとって今後も重要なパートナーになると説明された。そのうえで、EPA締結を実現するために重要な点として、①両国間の制度的インフラの調整、②トルコの自国保護産業に対する譲歩、③両国間の貿易不均衡の是正の3点を挙げ、EPA締結をはじめとした両国の関係深化は、コロナ禍をチャンスに変えるポテンシャルを持つと締めくくった。また、アトル社長からは、今回のコロナ危機がトルコに与えた影響は甚大であるが、トルコ政府による緊急融資策や税制優遇などの短

期・長期施策の効果により、トルコ経済は回復傾向にあると分析されていた。このような回復に向けた努力を続けるトルコ経済に対しては、鉱工業製品の付加価値向上やデジタルインフラといった、日本が得意とする分野での投資促進に大きな可能性を感じた。議論を通じて、パンデミックという非常事態においても、これまでの取り組みを緩める



両国大使、DEIK会長ほか多くの方が出席

ことなく、ビジネス関係強化に向けた双方の努力が必要であるとの共通の認識を得たことで、懇談会の所期の目的を果たせたと考えている。また、パンデミック発生後のトルコの現状などへの知見を深めることが出来、我々日本側参加者としても得るところの多い懇談会となった。バシヤクシエヒル松と桜都市病院の建設の例に見られるように、コロナ禍においても絶え間なく続く日トルコの協力関係は、今後の両国の復活に向けた大きな力になることを実感した。そして懇談会の最後には、日トルコ間の往來の障害が克服された際には、日本代表団としてトルコを訪問し、合同経済委員会を開催することを約束した。経団連では、今回の危機を一刻も早く打開すべく、感染拡大防止との両立を前提とした国際的な物流機能の維持・回復、保護主義的措置の排除、投資の円滑化・自由化、国際的な人の往來再開などに向けた働きかけを行っている。日本トルコ経済委員会としても、合同経済委員会の開催をはじめ、両国の経済交流を引き続き推進していく所存である。

(注1) 産業を保護することを目的とし、4000以上の品目

に対して追加関税を適用。

(注2) 日トルコ間の貿易額(財務省「貿易統計」2019年値)、日本からトルコ…25.2億ドル、トルコから日本…7.7億ドル。

(注3) バシヤクシエヒル松と桜都市病院…2020年5月21日、トルコ・イスタンブールに開業した大型総合病院。双日が建設・運営に参画し、国際協力銀行(JBIC)などが協調融資。当初は6月の開業を予定していたが、新型コロナウイルス対応のため予定を前倒しして4月に部分開業。5月21日に全面開業。